



桜の木の下をくぐりぬけて…
よい日燦燦
新本館総合ホール壁面完成



「うま」1994年 クレバス 水彩絵の具 紙
やまなみ工房(滋賀県) 三井啓吾
(昭和45年6月12日生 滋賀県草津市在住)

今から約10年前。三井さんと仲間達、あの頃はとにかくよく出かけたものだ。ちょうど秋晴れの日、まわりの田園は稲刈りで大忙し。いつものようにワゴン車に乗り込み、走り出してから行き先を決める。車の窓を全開にし、顔いっぱい風をうけるのが大好きだった三井さん。その日行き着いたのは、畜産センター、牛やヤギやブタがいっぱいだ。動物が苦手、いつもは子犬でも立ち止まってしまう。三井さんもこの日は、柵のむこうで走り抜ける馬をとても興味深く追っていた。外出してはその先で出会ったこと、感じたことを、次の日、朝から紙に向かい瞬時に描き上げる。そしてまたいつものように車で顔に風をうける。その顔はとても満足そうだった。
文:山下完和さん(やまなみ工房指導員)

(大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています)

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
一般内科		友野	政次	渡邊	友野	有馬	
糖尿内科		隠岐	武呂	田中	隠岐	政次	
		隠岐	武呂	田中	隠岐	政次	全て予約制
内分泌内科 肥満		田中	隠岐	武呂	政次	武呂	
		田中	隠岐	武呂		武呂	全て予約制
血液内科		渡邊	有馬	通堂	赤坂	通堂	
		渡邊	有馬	通堂	赤坂		全て予約制
		通堂	有馬	諫田			
消化器内科		松田	津村	大崎	杉之下	圓尾	
			津村	大崎	杉之下	蜂谷	全て予約制
肝臓内科		喜多	大崎	木村	國立	國立	
		喜多	大崎	木村	國立	國立	全て予約制
胆・膵臓内科 消化		蜂谷 (予約制)	辻	友野	辻	福山	
			辻		辻	福山	全て予約制
免疫・リウマチ科		竹内	竹内	竹内			全て予約制
腎臓内科		鄭	南方	坂井	鄭	南方	
		鄭	南方		鄭	南方	全て予約制
循環器科		牧田	垣田	桂川	田中	稲田	
		林	牧田	稲田	桂川	田中	全て予約制
		伊藤	田中	伊藤	滝本	垣田	
心臓血管外科				南		山田	
				南		山田	全て予約制
小児科		新居	金岡	田中	新居	金岡	
		山本	住本	肩野	鈴木	葭井	
外科		兼松	亥埜	横井	瀬尾	井ノ本	
		亥埜	東山	中島	有本	浮草	
		鍛	山中	祝迫	三木	東山	
整形外科		牛尾	大浦	富原	大谷	浅野	
		吉田	大谷	大浦	牛尾	(渡邊)	
リハビリテーション科		渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	
		渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	
脳神経外科		担当医	岡本	担当医	岡本	伊藤	
			伊藤		新田	小室	
神経内科		金田	竹内	安井	鈴木	加藤	全て初診のみ
		鈴木	加藤	金田	加藤	鈴木	全て再診のみ

➡異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの曜日別医師担当表をご覧ください。各科外来にお問い合わせ下さい。

●大阪赤十字病院に関すること <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/> ●赤十字全般に関すること <http://www.jrc.or.jp/>

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器科		吉村	久保	網谷	西坂	若山	
		網谷	田原	若山	田原	吉村	
		西坂	網谷		久保	黄	
呼吸器外科		吉村	久保	網谷	西坂	若山	
		網谷	田原	若山	田原	吉村	
産婦人科		針田	姫野	松本	関山	三瀬	産科・助産婦外来
		木下	松本	姫野	木下	針田	婦人科外来
泌尿器科		金子	西村	大森	西村	大森	
		寺田	北原	北原	金子	寺田	
眼科		吉田	柏井	吉田	柏井	坂上	
		正井	担当医	森下・加賀	担当医	小松	
		加賀	担当医	坂上	担当医	正井	
耳鼻咽喉科 気管食道科		箕山	岩永	箕山	田邊	岩永	
		担当医	與那嶺	柿木	担当医	担当医	
皮膚科		高瀬	堀口	堀口	荒木・高瀬	堀口	
		森	太田	森	森	荒木	
		荒木	高瀬	荒木		高瀬	
形成外科		心石	柴田	中井	心石	柴田	
精神神経科		吉田	早川	上田	土戸	吉田	
		上田	土戸	吉田	早川	早川	
放射線科		石垣	藤堂	石垣	石垣	藤堂	
		清水	石垣	藤堂	小嶋・藤堂	石垣	
		藤堂	西川	清水	清水	清水・小嶋	
		小嶋	西川	小嶋	西川	西川	
		清水	西川	清水	小嶋	藤堂	
歯科 (口腔外科)		鹿野	杉立	蠅庭	担当医	親里	全て初診のみ
		杉立	蠅庭	杉立		杉立	全て再診(予約制)

受付時間(月～金)

初診の方 月曜日～金曜日 午前8時30分～午前11時30分
再診の方 月曜日～金曜日 午前8時45分～午前11時45分
診療開始は 午前8時45分からです

お問い合わせ

☎06-6774-5111 (代表)

診察券は

診察券は全科共通で永久に使用いたします。ご来院時には必ずおもちください。

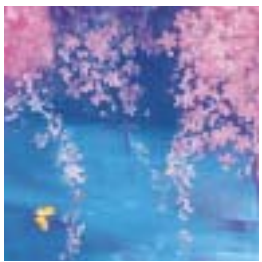
保険証等は

保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

新本館総合ホール壁面完成

好い日燦燦

桜の木の下をぐぐりぬけて…



もうご覧になった方もありますが、新本館の総合ホールの壁面による12メートル、たて4メートルの壁面が9月13日に完成しました。この壁面を制作していたのは、現代洋画壇において、今最も注目されている田村能里子先生。88年、中国西安のホテル唐華賓館のロビー壁面をはじめとし、中山競馬場客船「飛鳥」、横浜M21ヨサートホールなど、多くの壁面を手掛けられています。田村先生の作品は、女性像を中心とした人物をモチーフにされていますが、それらの作品の原点は、インドの大地に根ざした現地の力強い人々の姿にあると聞いています。大阪赤十字病院の今回の作品の思いについてお話してくださいました。

ついでに、これが私の信念なんです。壁面は、何十年、何百年と残るものなので、その責任の重さもすごいことだと思います。またそれが快感にも思えて、私のエネルギーにもなっています。壁面制作、それはロマンですね。

大阪赤十字病院に見に来て、いたので、絵のイメージの構想はどのように変わりましたか。

田村 大阪赤十字病院が建っている鶴橋の町の空気に触れ、その絵を描く現場を見て、そして、やはり病院という建物に展不する作品ということ、この接点を私なりにきわめていきました。また、桜といったイメージがあるでしょう。どんな桜がいいかということには今回の作品の中でも重要な事だったんです。あの場所を見ていただくとわかりますが、人の視線の上に、見上げられるような位置にある事、そしてあそこを場所を通り抜けて、患者さんは診察へ行くんだということ。そう、桜の木の下をぐぐりぬけて、という作中コンセプトができ、あの桜になったわけなんです。

田村 筆を持つている時だけが、制作しているのではないんですよ。もちろん院内を散歩している時にも、大阪赤十字病院の職員の方とお話している時も私にとっては、全てが壁面の製作中なんです。そして、その一時一瞬で、感じとったものが作品の結果につながっているんです。私は女性をよくモチーフにしていますが、今回の作品は、女性ではなく子どもを登場させたこと、そして下町という、鶴橋の人情のあたたかさを表現することにこだわりました。鶴橋の鶴にこだわった部分も種あかしすると、子どもの帯に鶴と亀の昔の模様を描いたんです。鶴千年・亀万年、えう長生きという願いを込めてね。

制作中のエピソードはありますか。



YOIHI-SUNSHIN

田村先生は15年の間に40数作の様々な壁画を手掛けられたとお聞きしましたが、今回私も大阪赤十字病院からの依頼を受け、まずどんな作品の構想、イメージを描かれましたか。

田村 大阪赤十字病院の地には、昔は桜の木があつて、とても美しいところと聞いていましたので、ぜひ桜を描きたいという思いはありました。さて、どんな桜にするかは、実際に鶴橋という町や大阪赤十字病院を訪れて現場を見てから、ほとんどイメージが膨らんでいったんです。そして、製作中に自分自身と格闘しながら、「笑」です。先生は、下絵をされずに制作にとりかかれらるんですよ。

田村 壁面というのは、たつたひとつしかない環境で、その空気に触れながら作るわけです。制作中に、自分の体で感じとっていくものを、自分の中で会話しながら、その空間と一体化するものを完成させていきます。だから、「同じ絵を描くことはできない」、むしろ「しないほうがいい」と思っています。

田村 患者さんも、職員の方皆さんも、筆や絵の具を持っていたりする時は、気を遣って声をかけずにそっとして下さってましたね。でも、休憩の時、ある患者さんが私の絵を見て「昔の鶴橋はこの絵のよさに桜がきれいだったよ」と声をかけてなつかしうな顔をされて、嬉しかったですね。この作題名は「好い日燦燦ですよ」。患者さまにどんなメッセージがこめられてるんですか。

田村 絵は100人100色。きつと見る人によって感じていたところは違つていよう。病院という建物の中では、いろんな方がいろんな思いで、つらい時やかなしい時、不安な思いである絵の下をくぐられる事もあると思います。そんな時少しでも心のケアになれば、その方の心を癒されるものであればと願っています。長い入院生活の方は毎日が大変でついでして、その時は、一日3分でもいいから、絵をじつと見て下さい。きつと見るたびに、いろいろな発見があります。作られた方異なります。

継続的定期検診は必要です。手術には子宮全体をとする「子宮全摘術」、筋腫だけを摘除して子宮を残す「筋腫核出術」があります。手術のやり方としてお腹を切る「腹式手術」、お腹は切らずに膈から子宮をとる「膈式手術」、更には内視鏡、つまり「腹腔鏡あるいは子宮鏡を使う手術」などがあります。どの方法にも「長一短」があり、どの方法が一番適した、あるいは優れた方法があるかは、患者さまの事情、子宮筋腫の状態などにより異なります。

内科的治療法としては「偽閉経療法」が最近では最も多く行われています。これはお薬でホルモンの状態を閉経後と同じ状態にして、一時的に月経を止め、月経に伴って起こる筋腫の症状を回避しようという方法です。それに、この治療法は子宮筋腫のある程度の縮小が期待できる面があるのも特徴です。しかしこの方法には限界があつて、4ヶ月から6ヶ月間のお薬を使う期間が過ぎると月経が再び始まるようになると症状がぶり返し、多少小さくなった子宮も元の大きさに戻つてしま



産婦人科



産婦人科外来看護師及び受付スタッフ

ご存じですか？

各・診・療・科・の・Q・A・集

産婦人科

婦人科の疾患で最も多く見られる疾患の一つ、子宮筋腫(きんじゆ)についてのお話。

子宮はいままでおなかの中で胎児を育てるための、そしてそれだけのための臓器です。

子宮は平滑筋(へいへいしん)で出来ている臓器です。この筋肉の一部が腫瘍化し、硬い筋肉の瘤(うぶ)になったものを子宮筋腫(きんじゆ)といいます。大きさは米粒大のものから10kgなんて重くなるものまで色々です。出来る場所も色々で子宮の表面、子宮の壁の中、あるいは子宮の内腔表面に隆起するようにして出来るものがあります。要は子宮に発生する「筋肉の良性の腫瘍(しゅよう)」です。35歳から50歳くらいの女性の4〜5人に1人は筋腫があるとされています。年齢別に見ると40歳代、30歳代、50歳代の順に多く見られます。

代表的な症状は生理痛(げいりつう)、月経困難症、過多月経と貧血(ひんけつ)なども月経に伴う症状です。また不妊症(ふじんせい)も代表的な症状のひとつです。そのほか、子宮筋腫の大きさが、出来ている部位によっては頻尿(ひんせう)も多く見られます。

腰痛、腹痛、排便困難、下腹に何かあるなどという感覚(くわんか)腫瘍(しゅよう)感などの症状が出る人もあります。通常の診察で多くの場合は診断可能です。最近では超音波、MRI、CTなどの画像診断を併せて行うことが多いです。いずれの診断法も苦痛を伴うものではありません。

子宮筋腫はあくまで良性の腫瘍なので、よほど特殊な場合でない限り命にかわるようなことはありません。このことを前提として赤ちゃんを作る希望の有無、症状の軽重を考慮し、「この子宮筋腫はいま治療をする必要があるか?ないか?」という基本的検討から子宮筋腫の治療は始まりま

す。治療した方がよいと考えられる場合、「手術をする外科的治療法」と「手術はしないでお薬で症状の軽減を図る内科的治療法」のどちらかを選択します。今は治療を必要としないと考えられるのは、大きさがおおよそ手拳(てこぶ)大以下、かつ症状は軽微(けいび)あるいはもうすぐ閉経するかもしれない年齢である、などといった場合です。この場合でも

者の絵心の遊びをせひ、みつめてください。(笑)そして、元気になられて健康への喜びを心いつぱい感じながら私の作品をぐぐりぬけられる、良き日は絵の中の満開の桜が、祝を奏でてその方を迎えてくれます。

人生は毎日毎日の積み重ね。私の作品を見てくださる限りない多くの方々へ、いろんな良き日がたくさん、太陽のように燦々とありますように。そんな願いをこめて「好い日燦燦」と名前をつけました。

(インタビューを終えて)

とてもお忙しい時間の中、田村先生にインタビューをさせていただきました。あの絵は、私の手からはなれて、これから何年も月日を経ることになるに違いない。よ」と最後に言っておられた言葉が印象に残っています。絵の中に登場する子どもですが可愛さの中に、しっかりと精神の強さが感じとれます。田村先生が「いろいろな人々の美しさをよく見て、自分なりに表現したい」とおっしゃっていた事を思い出しました。そして先生の人生、生き方に通じているようにも思えます。

TAMURA NORIKO

画家 田村 能里子さん

1944年、名古屋生まれ。武蔵野美大卒。69年からインドで4年間暮らした。現地の女性を描き続けた。83年、現代の裸婦展大賞。主な壁画作品は「季々遊々」(中山競馬場)、「風わたる」(大阪OMMビル)など中国(1作品)、タイ(1作品)、日本全国(43作品)。

ない治療法といえるのは「子宮全摘術」だけです。「子宮筋腫はあくまで良性の腫瘍」と先に述べましたが、ごくまれに肉腫(にくしゅ)という悪性腫瘍(あくせいしゅよう)に変化(へんか)する(二次的変化)することがあり、しかも診断は困難(くわんなん)です。すぐには手術を必要としないよきな筋腫(きんじゆ)であっても定期検診(ていきてんけんしん)はやはり必要です。

子宮をとったホルモンバランスが乱れるなどという話を聞きになったことがあるでしょう。でも、子宮は赤ちゃんを育てる器官(くわん)であつてホルモン(ホルモン)を作っている器官(くわん)ではないのでさういふことはあり得ません。子宮筋腫は生命(いのち)にかかわるようなものでなくても健康(けんこう)で快適(かいてき)な生活(せいかつ)を送るには助けになることが多いものです。心当たりがある方は面倒(めんどう)がらずに一度子宮ガン検診(きんしん)を兼ね(かね)て婦人科(ふじんか)を受診(うけしん)してみましよう。

我が目を信じ、真を知る

大学では最初は法学部で学び、そして医学の道へ。自称、異端児。「いやなことはいや」「だめなことはだめ」うそをつかずに言ってきたら、それが人から見ると、ちょっと変わり者に見えるのかもしれないと、自分のことをそう語る岩永医師。「人間、正直に生きることが一番健康にいいでしょう」と気持ちがいいほど歯切れがいい。乗馬、愛犬ソクラテス、庭いじり（流行語でいえばガーデンング）とこれが岩永医師の大事にしているもの。「乗馬は、先に乗馬スクールに通っていた娘の送り迎え



MICHITAKA IWANAGA 岩永 迪孝

第二耳鼻咽喉科部長

昭和44年京都大学医学部卒業。昭和51年同医学部耳鼻咽喉科教室、同年7月同医学部附属病院医師。昭和52年倉敷中央病院。昭和55年北野病院。昭和59年北野病院。平成4年当院耳鼻咽喉科副部長。平成7年より第二耳鼻咽喉科部長。専門は耳鼻咽喉科頭頸部外科学。特に中耳および顔面神経



をしているうちに、自分でも腕前は娘が上ですね」。愛犬ソクラテスとの散歩は毎朝欠かさずの日課。癒される時間だそうだ。「動物は正直です。そして愛情をそそいだ分、ちゃんとかえしてくれるからいいですよ」。イヌ語はわからなくとも通じ合っているそうだ。そして、庭いじりの方もこれまたすごい。四季の花をまめに植え、育てる目慢の庭。医師として多忙な毎日の中、自分の好きな時間も大切にしていることに敬服してしまう。「耳鼻科とは、ほとんど肉眼で見えるところ。ファイバースコープで視診すればいいだけだ。診察できます。つまり医師の見る目がとても大事なわけですよ」。そして、耳鼻科の患者は0歳〜お年寄りまで幅広い。特に言葉をし

話せない乳児、耳の中が痛いのか、痒いのか、小さな患者の訴えを正確に診断しなければならぬ。「乳児に限らず、自分の病状を医師に説明する方法は患者さまによりさまさま。言葉で正確に話してくれる人もいれば、言葉少なげに顔の表情で語る人。私たち医師は患者さまひとりひとりの表現しきれない部分に心を向けていかなければならない」と話し、また、医師の前では言いたいことと十のうち緊張して三しか説明できない人もいます。「僕もそんなに言葉数が多くはないですけど。でも患者さまが何を聞きたいのかを解っていることが肝心なわけで、しゃべればいいというわけではないですよ」。「先生の顔を見ると元気が出た、そう言ってもらえることが患者と医師の関係の原点であるというのが岩永医師の考えでもある。これからの患者と医師の関係を「患者と医師は同等の立場で、もっと言うならば患者が医師を選ばず時代です。自分の命を託すなら厳しい目で自分の信頼できる医師を探すくらい気持ちが必要ですよ」。それが患者と医師との信頼できる関係の始点であると提言してくれた。

そんな岩永医師は、学生時代から美味しい店を探すことへの情熱はすごい。特に肉が好物で、昔は産地を聞く前に食べただけで、松坂牛か、近江牛か、わかったそう。自分の舌で探した美味し店リストは手帳にちゃんと書いてあるそうである。自分が納得できる味を、自分の足と目と舌でとことん探す。本物を見つけない限り、近道などないらしい。



庭先で遊ぶ愛犬ソクラテス。目慢の芝生はゴルフ場にも負けない

ナースレポート 7 心ゆるめる日々



まえだりえこ
前田 理恵子
昭和25年10月14日、長崎県で生まれる。昭和44年3月長崎県立長崎南高等学校卒業。昭和47年3月大阪赤十字看護専門学校卒業。同年4月大阪赤十字病院9号病舎配属。外科外来看護部長、東1階病舎看護部長などを経て現在は看護部看護師長。

穏やかな気持ちで毎日を…

昭和47年に大阪赤十字病院へ就職。前田看護師が学生だった頃の赤十字看護専門学校はまだ全寮制だった。3年前の00年、寮を共にした全国に散らばっている同級生とニューヨーク旅行をした。「看護学校時代の同級生とは何年経っても会えば直ぐに打ち解けて、親戚のような特別なつながりを感じますよね」。その時ニューヨーク在住の同級生が道先案内人をしてくれたそうだ。「美術館巡りなどの観光コースを全部彼女が計画してくれて、海外へ来ている緊張感がなくて、みんな学生時代に戻った気分がわいわいと楽しかったですよ」。ニューヨークで一番感銘を受けたことはと聞いてみると、メトロポリタン美術館に行った時のこと、ルノアールの絵の前でキャンパスを立てて模写している人がいたこと。決して日本では見ることのない光景に接し、改めて文化に対する考え方の違いに驚いたことだそうだ。思い出が走馬灯のように浮かぶ看護師として勤務した30年。その中で一番よかった時期は、日本全国を旅行に出かけた息子さんや沖繩に渡って突然連絡がなくなり、しばらく不安が分かります。生きた心地がなくなりました。また、30年間の前田看護師の1徹の思いは「始まりがあれば、必ず終わりが来る。少なくともいけないならば楽しくしましよう」ということ。いろいろな人のめぐり合いとたくさんの感動に出会えた事、それが看護師の仕事が続いてきたよかったと思ふ事。毎日が単調にならないように時には通勤道を変えて気分転換をしたり、貴重な休日には気の向くまま歩いたり、行き当たりばったりバスに乗って知らない街を歩いたりする。ついでにこの間もぶらぶら歩いていると興福寺の五重塔が開扉していた。初めて中の如来様を拝むことができたそうで、きつと何かいいことがありそうな感じがすると話してくれた。これからもいろいろな事や出会いがあると思うけれど、決してその事実から逃げることもなく、特別にいいことを期待するのでもなく、穏やかな気持ちで毎日を看護師としての情熱と誇りを忘れることなく無事送れることを望んでいると締め括った。365日、30年間、春、夏、秋、冬。時には寄り道や回り道もしたけれど、家から病院に続く日溜まりの中を今日も元気に歩く前田看護師の姿が浮かぶ。



2000年、看護学生だった頃の同級生達と訪れたニューヨークの教会の前で

大阪赤十字病院94年のその時

庭の樹木に 思いをよせて



当時、「国際庭園」とよばれた庭園と職員の会報誌「院友会報」

イギリスのサンザシの花、ドイツのデキタリス、アメリカのサボテン、スイスの高山植物等の樹木が咲き誇る「国際庭園」と呼ばれていた庭園がありました。「植物は人間生活に温情をもよほすもの」「自然界の偉観を人生に教ゆるもの」というお考えを持たれていた当時の前田松苗院長が、昭和7年にジュネーブ赤十字社のシドニー・エッチ・ブラウン氏の来訪を記念し、世界各国の赤十字より一木一草の種子をとりよせて造られたもの。色とりどりの植物草花には、それぞれ国旗、国名、植物名が印された立札が添えられた。そこには麗しく温かな赤字の精神が息吹き、多くの患者さまの心を慰安してくれるものとして、これ以上のものはないという思いが託されていた。

淡々さまの緑の傘で空が覆って、チラチラゆるる木洩れ陽としゃぶりの様な轟の声（夏）「赤トンボがすいすい飛んで、もくせいがか甘い匂いを漂わせる」（秋）「紅葉が風に舞い上がり、舞い散り土に還っていく」（冬）これは74年に記載された一文です。また「生まれて、老いて、病んで、死んで行く四苦を担った人の人生と、ゆるぎない自然のいとみなみ。その人の終末を見守っているもの云々樹木が話したら、どんな話を聞かしてくれるのか」という思いも綴っておられます。当時、胸部外科の手術病棟に勤務していた看護師達は、呼吸器という生命に直結する手術だけに、その後の看護は責任重大でした。木曜日手術日患者さまが酸素テントを出される土曜日まで、看護師は祈る思いで毎日（週）し、危篤状態を脱した喜びは、それはそれは、言葉では言い尽くせない大きな喜びだったと聞きまされた。そんな時眺めた中庭、樹木は美しく、看護師になってよかったとも思える時だったと記されています。一人の患者さまの手術日で、せかかと下ばかり見て走りまわる日々。一年がまたたく間に過ぎてゆく中、看護師達は、空を仰いだり、横をむいたりという気持ちの余裕がありませんでした。ほんの一時、庭の樹木は四季の移り変わりを気づかせてくれ、心を熱くしてくれたわけですね。

おひまひの 三知識

薬を嫌がる子に飲ませるには、どうすればよいのでしょうか？今回は幼児・乳児に薬を飲ませる方法をお話しします。

薬を一回分ずつ、少量の水か湯でまじりに溶かして飲ませます。薬の味を嫌がる場合は、ジュースやシロップに混ぜてもよいですが、溶かす量はできるだけ少なくし、飲みきれぬ量（10ml以内）にしてください。ジュースの種類によっては、逆に苦味が出るものもありますので注意してください。冷たさで薬の味をごまかすことができ、飲みやすくなるからです。（薬によっては相互作用を起すことがありますので、薬剤師にご相談ください。また、一般の薬局で販売されているゼリー（粉薬を飲みやすくするためのもの）に混ぜてもよいです。

混ぜてはいけないものは、ミルクと食事です。薬により味が変化するため、あとでミルクや食事嫌いになることがあるからです。

水に溶けない薬は少量の水で練り、清潔にしたお母さんの指先につけて上あごや頬の内側に塗りつけてあげ、すぐに水などで飲ませる方法があります。あとで口直しに、好きな飲み物を与えてもよいですよ。

水薬が一緒に処方されている時は、水薬に混ぜてもかまいません。一回分ずつ、飲ませる直前に混ぜてください。（医薬品情報係長 樋口博子）

自然紀行

ふしぎ

地球を一周して、過酷な渡りの不思議



上=キビタキ(夏鳥)、下=オオルリ(夏鳥)

澄みきった青空にうろこ雲が秋を告げる頃日本の森や林でひなを育て上げたオオルリやキビタキなどの夏鳥たち、そして大きく成長したそれらの若鳥たちは、一冬を過ごすため温かい東南アジアの国々へ飛び立ちます。ひと時の秋を彩った紅葉がカサコソと冬を告げる頃、日本よりさらに北のシベリアでひなを育てたツグミ・シロハラ・ジョウビタキなどの冬鳥たちが、一冬を日本で過ごすために渡ってきます。大阪城公園や榎公園、長居公園などの都市公園にも、長い旅に備えて、あるいは長い旅の疲れをいやすためにこれらの鳥たちが立ち寄りします。

私の勤める西宮市の学校でも、春・秋の渡りの時期には、校庭の緑を求めてたくさんの小鳥が立ち寄りしますが、生徒たちによって、死んでいた鳥が届けられることもしばしばあります。死因などを調べるために解剖したことがあるのですが、何度かするうちに、おかしな事に気づきました。これから海を渡るうとする鳥と、海を渡ってきた鳥とは、から

だの中のように違っています。一方は、皮膚と筋肉の間にびっしりと白い脂肪の層がはりついているのに、もう一方は、まったく脂肪の層がないのです。もうおわかりでしょうか。秋の、これから海を渡るうとする夏鳥にとっては、東南アジアへの長い旅に備え充分な脂肪を蓄えておく必要があるのです。シベリアから渡ってきた冬鳥は、からだに蓄えてあった脂肪を旅の間にすつかり使い果たしてしまつたのです。

キョクアジサシという鳥は北極圏で雛を育て、冬（南半球の夏）は南極にまで渡ることが知られています。何と、1年でほぼ地球を1周している鳥がいることになりました。ヒヨドリや群が海を越えようとしているのを見たことがあります。何度も何度も、出かけては戻り、また、出かけては戻り…。やつと飛び出したと思ったら、ハヤブサに襲われ…。まあ、何とも大変な旅なのでしょう…。なぜ、こんな過酷な渡りという習性が、今も残っているのでしょうか…。



上=シロハラ(冬鳥)、下=ジョウビタキ(冬鳥)

講習会と相談会

当院では、診察とは別に様々な講習会・相談会を行っております。関心をもたれた方は、是非ご参加下さい。

内科 8407

- 糖尿病教室（1コース4回実施）
 - ①毎週木曜日（第5週は除く）13時30分から15時30分まで
 - ②内科外来19番 栄養相談室
 - ③糖尿病の患者さまとその家族（当院での受診の有無は問わず）
 - ④医師、看護師、管理栄養士

●外来患者栄養相談

- ①月曜日から金曜日までの毎日午前中
- ②内科外来19番 栄養相談室
- ③当院外来診察において、主治医から相談指示を受けた患者さま
- ④管理栄養士

●入院患者栄養相談

- ①月曜日から金曜日までの毎日
- ②内科外来19番 栄養相談室
- ③当院入院中で、主治医から指示を受けた患者さま（予約制）
- ④管理栄養士

●大阪日赤みどり会（日本糖尿病協会、大阪糖尿病協会加盟）

- ③糖尿病で、大阪赤十字病院で医学的治療を受け、糖尿病教室を受講した人、及び役員会で承認した人。
- ④患者会、医師、看護師、管理栄養士
- ⑤一泊研修やウォークラリーなどを通じて、健康管理や衛生指導及び会員同士の親睦を図ります。（内科外来にて、活動内容を掲示しています。）入会費¥1,000、年会費¥2,000。医療社会事業部にて入会受付を行っています。

小児科 8411

●子どもアレルギー教室

- ①毎月第3金曜日 15時から16時
- ②小児科外来
- ③当科通院中の患者さま（10名まで、予約制。希望者多数の場合は近日中に再度開催）
- ④小児科医師・住本

呼吸器科 8437

●喘息教室

- ①毎月第3木曜日 15時から16時
- ②呼吸器科外来処置室

- ③当院受診の有無に関わらず、どなたでも参加可能
- ④呼吸器内科医師（偶数月）、薬剤師（奇数月）
- ⑤参加者には小冊子を配布、開催の案内は呼吸器科外来等でも掲示します。

外科 8421

●のぞみの会

- ①毎月第3木曜日（8月、12月は除く）14時30分から16時まで
- ②外科外来待合室
- ③乳癌手術後の患者さま（当院受診の有無に関わらず、参加可能）
- ④外科医師、薬剤師 他

産婦人科 8427

●両親学級（1コース2回実施）

- ①毎月第1・2土曜日 10時から12時
- ②新本館4階講堂
- ③当院で受診の妊婦の方と、夫の方
- ④産婦人科外来看護師、助産師、管理栄養士

- ⑤受講費¥1,500（事前に支払）

耳鼻咽喉科 8418

●道声会（どうせいかい）

- ①毎週月・水曜日 13時から14時まで
- ②看護専門学校会議室
- ③喉頭摘出手術を受けた患者さま（当院受診の有無に関わらず、参加可能）
- ④喉頭摘出をした会員が、ボランティアとして発声練習の指導にあたります。
- ⑤パイプ式人工咽頭、電動式人工咽頭、食道発声の3種類の代用音声の指導を実施。入会費¥2,000、年会費¥3,000。会員同士の親睦会等も、実施しています。

薬剤部 8490

●おくすり相談コーナー

- ①月曜日から金曜日 9時30分から15時まで
- ②正面玄関薬剤部横
- ③当院受診の有無に関わらず、相談可能
- ④薬剤師

①開催日時 ②場所 ③対象者 ④講師・代表者 ⑤その他(特に記載がなければ、会費は無料)



TOPICS FILE

トピックス&ニュース



全科、院外処方せん化実施 ご協力をお願いします

当院では、国の政策方針に従い平成16年1月の新病院開院時からは、すべての患者様のお薬は院外の保険薬局で受け取っていただくこととなります。これに伴い、昨年より診療科ごとに順次院外処方せん化を進めて参りましたが、12月から内科、循環器科、外科、心血管外科のお薬も院外処方とさせていただきます。

みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。



禁煙外来 開設のお知らせ

当院では10月24日(金)から禁煙に興味のある方、またやめようと思ってもなかなかやめられない方を対象に、禁煙のお手伝いをする禁煙外来を開設いたしました。

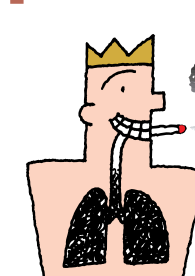
なお、料金につきましては、自費診療となります。お問い合わせは呼吸器科外来まで。

開催日・時間：毎週金曜日 午後1時から（完全予約制）

場 所：呼吸器科外来

診 察 料：初回診察料 3,500円(税別)
2回目以降 500円(税別)

※診察料に、ニコチンパッチ代は含まれません



「医療用PHS」 職員の使用について

当院では職員相互の連絡を密にし、緊急時に迅速に連絡、対応が出来るよう医療用PHSを使用しております。

当院で使用している医療用PHSは、その電波が心臓ペースメーカー等の医療機器に影響を及ぼさないことを事前に確認しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※なお、引き続き院内における携帯電話・一般用PHSのご使用はお控えください。



第1回目は10月17日に「小児喘息の新しい治療」というテーマで開催され、参加された方から“大変勉強になった”との感想をいただきました。

第2回目は11月21日「食物アレルギーとアトピー」というテーマで開催を予定しています。ご希望の方は小児科外来受付までお申し込みください。



当院は全面禁煙です ご協力をお願いします

平成15年5月1日より健康増進法が施行されましたが、タバコの煙の中には多くの有害物質が含まれており、この有害物質が体への様々な障害を引き起こす原因であるとの研究報告が発表されています。

また、他人のタバコを吸われないこと（受動喫煙）による害も報告されており、妊婦の方々の場合には未熟児や脳障害、心臓病、流産、死産など胎児にも影響することが明らかになりました。

現在、当院では旧館（現本館）に2カ所の喫煙スペースを設置しておりますが、“病院は皆さまの健康を守る”という立場であり、より安心してご来院いただく為にも、来年1月の外来の新館移転後は院内全面禁煙とさせていただきます。館内の喫煙室の設置はいたしません。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



患者さまからの声

Q 院内に郵便局を設置してほしいのですが…

A 郵便局の設置については、院内のスペースの確保が困難であるといった問題があり、設置は不可能です。なお、郵便局のATMの設置に関しては、現在日本郵政公社と調整しております。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

Q 玄関の車いすを利用したいのに、1台も無いときがあります。台数を少し増やしてほしいです。

A ご不便をおかけして申し訳ありません。台数に関しましては十分考慮しておりますが、患者さまの来院の多い日はどうしても不足してしまうことがあり、台数を検討しております。また、手荷物の移動等の為のご利用はご遠慮くださるようお願い申し上げます。

食習慣の改善 ② 「糖尿病」と嗜好食品

栄養課◎伊藤大翼(管理栄養士・糖尿病療養指導士)

◎お酒やお菓子などの嗜好食品

嗜好食品とは、アルコールや清涼飲料水、まんじゅうやせんべいといった菓子類のことをいいます。糖尿病食療法のための食品交換表（以下食品交換表）において、嗜好食品は「原則として糖原病には好まない食品です。」「飲食の場合は主治医と相談してください」とされています。

当院においても「主治医の指示」とされています。

◎嗜好食品は「empty calorie」

食品交換表における、主な嗜好食品のエネルギーを上記に示しました。嗜好食品のエネルギーを表示すると、「食べた飲み飲んだりした分、食事を減らせばよい」と考えられる方もおられますが、それはなりません。嗜好食品は「empty calorie」といわれるように、栄養的価値がありません。よってエネルギーはあるが、体にとって必要なもの（栄養素）がないということです。ですから、食事を減らすということは、必要な栄養素が摂れなくなり、あくまでも、嗜好食品は余分なエネルギーを摂ったといえます。

◎アルコール・飲酒の害

アルコールは、そのものにエネルギーがあることも問題ですが、酔って自制心を無くし、飲みすぎたり食べすぎたりしてしまいます。主なアルコールの害を挙げておきます。

①食事療法がおきそかになる ②中性脂肪の増加、高脂血症、肥満をもたらす ③インスリン作用の低下、インスリン分泌の抑制 ④アルコール性低血糖 ⑤肝障害、痔疾患 ⑥高尿酸血症 ⑦アルコール依存症

アルコール飲料				
缶ビール(レギュラー)	1缶	350ml	約160kcal	約2単位
缶ビール(ロング)	1缶	500ml	200kcal	2.5単位
日本酒	1合	180ml	約200kcal	約2.5単位
ウイスキー	シングル	30ml	80kcal	1単位
嗜好飲料				
スポーツ飲料	1缶	350ml	約80kcal	約1単位
炭酸飲料	1缶	350ml	約160kcal	約2単位
アミノ酸飲料等	1本	500ml	約80kcal	約1単位
菓子類				
まんじゅう	1個	50g	160kcal	2単位
せんべい	3枚	20g	80kcal	1単位
ケーキ	1個	75g	240kcal	3単位

(1単位=80kcal)

◎「たまには息抜き」
よく息抜きに、ちょっとくらい良いのではといわれます。しかし、毎日息抜きしていませんか？確かに、嗜好食品を絶対摂ってはいけないとすれば、余計に摂りたくていりますが、あくまでも、食事療法がうまくいっていることが前提での息抜きです。嗜好食品の摂る量や頻度については、あくまでも主治医の指示を絶対守ってください。

◎最初の一步
嗜好食品における「最初の一步」は、家庭に常駐させないということです。なければ摂らないが、あればつい摂ってしまいます。食品を手に入れないことです。安いからといって買いためにせず、必要な時・必要量を購入するようにしましょう。

日赤のポーランド児童救済事業がドラマ化「ワルシャワの秋」

看護師役は竹内結子さん
12月23日午後9時より
関西テレビ・フジ系列で

第一次世界大戦とロシア革命という激動の時代の中、シベリアに取り残されたポーランドの子どもたちを日本赤十字社が救済するという歴史がありました。今回、関西テレビ開局45周年記念番組としてこれがドラマ化されます。

物語はポーランドの孤児たちを受け入れることになった大阪赤十字病院の看護師を主人公に婚約者との死別、同僚ナースの死、そして孤児たちとの出会いとふれあい、別れを描いています。

物語の舞台は大正時代の大阪。ヒロインである、当院の看護師青木葉子役を女優の竹内結子さんが演じ、大正時代の名残りのある小樽を中心に撮影が行われました。今年末に関西テレビ・フジ系列で放送予定です。ぜひご覧ください。

※ポーランド児童救済事業とは？
第一次世界大戦とロシア革命の過程で多くのポーランド人がシベリア流刑にされていました。孤児になる子どもたちも多く、ポーランド人ボランティアの要請を受けて、日赤は彼らの救済事業に乗り出し、1歳から16歳まで、765人の児童をウ

ワルシャワの少年を優しく見つめるヒロイン役・竹内結子さん

ラジオストックから船で救出しました。飢えと寒さ、病気で困窮していた彼らを東京や大阪で保護、子どもたちは日赤看護師らの支援により健康を取り戻し、無事祖国に帰還しました。

編集後記

人間には、二つの耳があります。その他にもう一つ、第三の耳というものを持つ必要があるといわれます。人間は、言葉にできない思いを、腹の底に留めているのです。人間の、声に出して言えない心のつぶやきを聞き取るのが、第三の耳というものです。

人間は自分の考えをすべて、言葉にすることはできません。ですから、声には出さなくとも、心の中で叫んでいる、心の声に耳を傾け、感じ取るための第三の耳を養う必要があるのです。

第三の耳を持つことは、人間への思いやりの心を養うことに通じます。相手の仕事や態度を見て、心の動きを感じ取り、自分の心にも通じ合うものがあるのではないかと、相手を思いやる心が、今の時代にもっとも必要なのではないでしょうか。(NH)

大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは 人道・博愛の赤十字精神に基づき すべての人の尊厳をまもり 心のかよう高度の医療をめざします

患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します